

吉祥寺東町1丁目市有地利活用事業 市民説明会及び意見交換会での市民意見
(事業者に対する要望や期待することに関する市民意見のみ抜粋)

【市民説明会（令和4年8月2日、6日開催）】

○事業内容について

- ・市民が今本当にほしい施設をぜひ作って頂きたい（医者、相談できる医療）。
- ・地域特性に合致した施設誘致を図って欲しい。
- ・地域の特性をしっかりと理解して、地域の希望をくんだ事業をしてほしい。
- ・民間事業者が緑の報告書の9ページにあるイメージ通りの事業を実施できるのかどうかが本当に心配。
- ・地域の心の拠り所、医療、安心していつまでも東町で暮らせる施設を希望する。
- ・「公益性」と「福祉」を最優先して欲しい。地域の中に存在しているという点も。
- ・近所に住んでおり、これからは楽しみ。

○市民参加、地域団体との連携について

- ・地域団体との連携をどうとるのか。
- ・民間事業者（有償）と地域団体（無償）が連携してうまくいっている例は、多くあるのかも心配。事業担当者の技量によって大きく左右されると思う。
- ・地域人材の活用（特に高齢者）を民間事業者とあわせて重視してほしい。
- ・我々市民が参加しやすい場に本当になるのだろうか。ものすごく心配。（住民、ボランティアを含めて）
- ・事業が始まってからも地域の意見が反映できる仕組みを。市のかかわりが大切だと思う。
- ・事業者にも、事業を担当する市の部署にも、住民がこれまで真剣に本地について考えてきたということ、よくよく理解して頂き、運営面でも市民の意見を大切にしたいと思う。
- ・事業者と連携をとって参画できるのか。上下関係的なつながりにならないか。
- ・地域団体の一員として、何か関わりたいと感じていたが、民間事業者の場合、担当がしょっちゅう変わってしまうとやりにくいかも（これは市が担当しても同じだが…）。利益追求をしなければいけない民間事業者とうまくやっていけるだろうか。

○人材活用・人材育成について

- ・中高生の必要度が高いことに自習室がある。図書館ではそれができず、コミセンもテーブルが狭く使いづらい。学習が苦手な子供に優しく教えてあげてくれる人がいれば、なお良いし、地域の人材活用（元教師とか）にも人材育成（子供達）にもなりニーズが高いと感じている。学校の先生は忙し過ぎるのでそれを補う気軽なお金のかからない取り組みをできるといいと思っている。

- ・「岡田さんち」の施設運営者がキーマンとなり、数年に渡り地域団体とタッグを組んでこの地域の福祉を担ってきた。その際、市民社協が関わってくれていたが、民間事業者が「岡田さんち」を廃止したことで、つながりが途絶えてしまった。今回の事業にも、このようなキーマンが現れることを祈っている。
- ・地域団体の担い手が少なくなっているように思う。人材発掘の工夫が大事だと思う。

○その他

- ・建設地前の道が狭いことを心配している。安心して生活できるよう配慮をお願いする。
- ・若い人たちの流入が常にありながら人口構造的にお年寄りが増えていくのなら良いが、そうではない中でお年寄り向けの施設を作るのはさらに地域の活気がなくなりそうで心配。

【市民意見交換会（令和4年9月13日、17日開催）】

○多世代交流について

- ・多世代の人が関われる工夫、たとえばオンライン活用など忙しい人も参加できる工夫を是非していただきたい。
- ・多世代が関われる、ゆるやか、自由度が高い。
- ・いろいろな世代が入れるとよい。
- ・多世代のニーズ対立にならないための配慮、バランス、ある種のリーダーシップも必要。
- ・主にある年代の課題を中心に関わる団体でも、多世代交流を活動の視野に入れていることが条件とするなど。

○ボランティアについて

- ・大学も何校かあるので、ボランティアに興味のある若い方にも入って下されると良い。（中学生、高校生も含めて）

○施設への交通・送迎について

- ・東町では高齢者で歩行が心配な方が行くところがない。車での送迎がない点が非常に残念である。レモンキャブの大きさの車でも十分だと思う。
- ・高齢者が外出したくてもできない現状がある。乗合タクシーのようなものでもいいから送迎が必要だと思う。
- ・周辺道路の交通規制があるが、敷地内で車の転回ができるのか。また、部分的に前面道路の一方通行を解除するなどできないのか。ぜひとも車（足）の事を考えて頂きたい。